



どしどし

第 222 号
平成 30 年 10 月 1 日
宇都宮市立
中央図書館
東図書館
南図書館
上河内図書館
河内図書館

読めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

よるとしよ (第 1 回)
8 月 24 日 (金)
19:30~21:00

第 222 号の主な記事

- 1 面 よるとしよ・読書生活
- 2 面 よるとしよ
- 3 面 上河内図書館 体験してみよう! 1 日司書さん
予約ベスト 10
- 4 面 図書館サービスあれこれ・調べ方のツボ
しせつめぐり・第 10 回
うつのみや遺跡の広場・資料館



↑ 他の人の話に、楽しくそして真剣に耳を傾ける参加者



↑ ファシリテータの藤平さん(左)と江口さん(右)

「子どもたちの未来」と「本」をつなぐ

読書生活



城山中央小学校司書
鈴木 祐子

朝 8 時に図書室を開けると、毎日たくさんの子どもたちがやって来ます。本を探したり、借りたり、返したりと、わずか 10 分の貸出時間ですが図書室は大忙しです。「この本おもしろかった!」「本の匂いって好き!」など子どもたちは様々な感想を聞かせてくれます。朝日の差し込む明るい図書室での 10 分間は、本好きの子どもたちが気持ちよく一日のスタートを切るために、なくてはならない時間となっています。

小学校図書室の主な利用者は、これから自分の未来を切り拓き、社会を支えていく子どもたちです。彼らが困難を乗り越え、大人になっていくためには、学校での勉強、家庭や地域での学びだけでなく、読書が大きな力を与えてくれると考えています。

図書室は世界中の叡智や経験が本という形で集まっている場所です。図書室で出会った本や読書の経験は、楽しい時だけでなく辛い悲しい時にも子どもたちに寄り添ってくれることでしょう。

学校図書館司書として「利用者と本の仲介者となること」を信条に、今日も図書室を開けています。



↑ 話したい人は、手をあげて、ぬいぐるみを受け取り、発言します



よるとしよ

とちぎサイエンスらいおん

県民の科学技術に対する理解・興味の促進、科学技術リテラシーの向上のため、ネットワークを構築して活動を行っている。県内の理系大学、博物館、企業などが会員となっており、東図書館も参加している。

主な取り組みとして、「サイエンスらいおんカフェ」、「科学の祭典『エンジョイ！カガク！！』」、「公開シンポジウム」、などがある。



→ 貸出体験



← 館内の資料を使った
レファレンス体験

とちぎサイエンスらいおん×よるとしよ 「サイエンスびぶいお哲学カフェ〜本とあなたと哲学と〜」

8月24日(金)に東図書館で「よるとしよ」を開催しました。「よるとしよ」は、日ごろ、図書館を利用する機会の少ない方のために、閉館後の図書館を活用して行う新しいイベントで、来年度も継続して実施する予定です。

今回は、「とちぎサイエンスらいおん」とコラボし、「サイエンスびぶいお哲学カフェ」とあなたと哲学と」を開催しました。哲学カフェは、哲学対話とも言われ、参加者がテーマについて自由に語り合う場です。

ファシリテータに、帝京大学の江口建(えぐちたける)さんと藤平昌寿(ふじひらまさとし)さんのお二人をお迎えして開催し、7名の方に参加していただきました。

江口さんから、哲学カフェのルールを聞いた後、カフェが始まりました。まず、「北海道の書店で実施している『1万円選書』をどう思うか」という問いが出され、「本を選んでもらうなら誰に選んでほしいか」、「紙の本と電子書籍はどちらがいいか」など、いろいろな方向に話が広がりました。

閉館後の図書館という、いつもとは違った、ちょっと不思議な空間で開催された「よるとしよ」。初対面の方々は思えないほど、和やかな雰囲気の中で話はずみ、好奇心を刺激されるとても楽しい時間となりました。



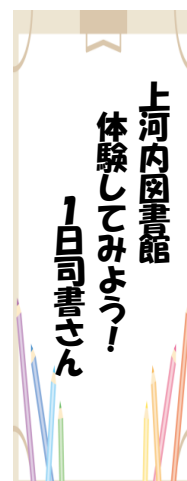
↑ 「本」や「図書館」がテーマの
図書館職員おすすめの本

両日で、小学3年生から6年生の延べ30人の参加がありました。

来館者の方への本の貸出や返却のカウンターでの活動、利用者が知りたい情報が掲載された本を探し出すレファレンス体験を行いました。

参加した子ども達は、はじめは緊張した様子でしたが、「本がますます好きになりました。」「普段は体験できないお仕事ができてよかった。」などの感想がきかれました。

図書館をより身近に感じる体験となりました。



7月22日(日)・8月1日(水)に平成2年から毎年実施している、人気事業「体験してみよう！1日司書さん」を行いました。

順位	タイトル	著者名	出版社
1	未来	湊かなえ	双葉社
2	かがみの孤城	辻村深月	ポプラ社
3	魔力の胎動	東野圭吾	KADOKAWA
4	大家さんと僕	矢部太郎	新潮社
4	蜜蜂と遠雷	恩田陸	幻冬舎
6	ファーストラヴ	島本理生	文藝春秋
7	下町ロケット [3] ゴースト	池井戸潤	小学館
8	おらおらでひとりいぐも	若竹千佐子	河出書房新社
9	マスカレード・ナイト	東野圭吾	集英社
10	君たちはどう生きるか	吉野源三郎	マガジンハウス

予約
ベスト 10



平成30年9月12日現在

図書館サービス あれこれ

河内図書館…複製画貸出サービス

河内図書館では、名画などの複製画を貸出するサービスを行っています。

複製画貸出サービス

は、河内町立図書館の開館に向けて準備を進めていた当時の館長が、欧米の一般家庭がパーティなどの際、図書館から

名画の複製を借りて部屋に飾ることを知り、これにヒントを得て、昭和61年9月の開館と同時に導入されました。当時、日本初の複製画を貸出する図書館として注目され、メディアで取り上げられたこともあります。

複製画の所蔵数は216点あり、毎年約200件の利用があります。

利用カードをお持ちの方であれば、3点まで1か月間借りることができます。カタログを用意してありますので、そこからお選びいただけます。

複製画の一例

タイトル	作者
モナ・リザ	ダ・ヴィンチ
ヴィーナスの誕生	ボッティチェリ
ひまわり	ゴッホ
ミッキーマウス	ウォルト・ディズニー
チューリップのある静物	ピカソ
落穂拾い	ミレー
タヒチの女	ゴーギャン
睡蓮	ミレー
りんごとオレンジ	セザンヌ
シルスマリアの慰慰	シャガール

このサービスを利用者の皆様に広く知っていただくため、複製画を使用したPR活動を行っています。平成29年度は複製画のスライドショーや、美術書の展示を行いました。

今年度も10月に複製画のスライドショーと塗り絵の配布（先着順で数に限りがあります）を行う予定です。

ぜひ河内図書館をご利用ください。



↑ 額縁に入った状態で貸出ます。
ホームパーティなどで、壁面に彩りが欲しいときなどにいかがでしょうか。



調べ方のツボ

実際に図書館で質問を受けた事例を紹介するコーナーです。

調べ方

『宇都宮市史 8』によると、宇都宮スポーツセンターは昭和28年6月完成、新聞では「関東一の大体育館」と報じたとありました。記事には「宇都宮市旭町の市体育館（スポーツ・センター）」という表記がありました。また、『保存版 宇都宮今昔写真帖』には、スポーツセンターが昭和57年に閉館となり、同61年10月、跡地に現在の市庁舎が建設されたと記載がありました。以上のことから、スポーツセンターは旭町にあった市体育館と判断し、当時の市体育館の写真が掲載されている資料を探しました。

回答

左記の資料を紹介。

『宇都宮市史 8』宇都宮市史編纂委員会／編（宇都宮市1981年）

↓ 宇都宮スポーツセンターの記載と市体育館の写真。

『写真でつづる宇都宮百年』（宇都宮市制100周年記念事業実行委員会1996年）

↓ 市制60周年祭が市体育館で行われた写真。

『宇都宮市六十周年誌』宇都宮市総務部庶務課／編（宇都宮市1960年）

↓ 市体育館の写真と概要の記載。

『広報うつのみや昭和56年度版』

宇都宮市市長公室広報課／編（宇都宮市1981年）

↓ 航空写真。

ファイル 28

昔、市役所周辺にあった、宇都宮スポーツセンターの写真が見たい。



しづめくら

第10回 うつのみや遺跡の広場・資料館

聖山公園（上欠町）造成に先立つ発掘調査により、昭和61年に縄文時代前期（5～6千年前）の大規模な集落跡が発見され、「根古谷台遺跡（ねこやだいいせき）」と称して現状保存されました。他に類を見ない貴重な遺跡であることから、昭和63年に国の史跡に指定されました。

園内には、日本有数の規模を誇る復元建物と、貴重な出土品などを展示した資料館があります。また西側斜面には、約1万株のニッコウキスゲが自生しているなど、豊かな自然に囲まれながら縄文時代の人々の生活に触れることができます。



↑ 長方形大型建物



↑ 復元建物の模型

■根古谷台遺跡

発掘調査により、300を超える墓墳（お墓）と、竪穴式住居、長方形大型建物、方形建物、掘立柱建物などの建物跡が69軒発見されました。

このうち長方形大型建物が1棟、竪穴式住居3棟が復元されています。

墓墳を囲むようにして建物跡が存在していることから、葬送などの儀式を行う場所だったのではないかと、また長方形大型建物は、その集会所として利用されていたのではないかと考えられています。

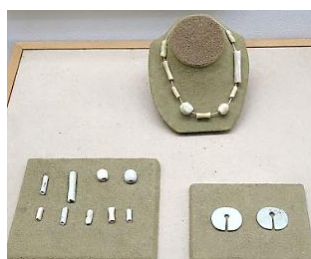


↑ 竪穴式住居

■資料館

重要文化財に指定された埴形（はつぎょう）類などの出土品や、復元建物や埋葬の諸形態の模型、発掘当時の写真などが展示されています。

また、今年は根古谷台遺跡国指定30周年を記念して、7月15日から9月30日まで企画展が開催されました。



↑ 玉類 埴形耳飾 ↑ ↓



■職員からの一言

4月は桜、5月はニッコウキスゲ、7月はヤマユリ、10月は紅葉と四季おりおりの表情をみせてくれます。宇都宮市が誇れる貴重な遺跡ですので、是非見に来てください。



お話を伺った、西山文化財愛護会（うつのみや遺跡の広場の管理団体）の山口さん

■主なイベント

- 5月 キスゲ祭り
- 7月 小中学生親子縄文土器づくり
- 12月 もちつき大会
- 2月 野鳥の巣箱づくり

DATA

うつのみや遺跡の広場・資料館

- 所在地 〒320-0855 宇都宮市上欠町 151-1（聖山公園内）
- 連絡先 028-659-0193
- 休園日 月曜日（休日の場合はその翌日）・祝日の翌日（土・日・祝日の場合は開園）・年末年始
- 開館時間 4～10月 9:00～17:00 11～3月 9:00～16:30（入園は閉園30分前まで）
- ホームページ <http://st0011.nas931.utsunomiya.nttpc.ne.jp/ext/isekihiroba/top.htm>

館報としかん 第222号

ホームページ <http://www.lib-utsunomiya.jp/>
（編集発行）

中央図書館	明保野町7番57号	〒320-0845	TEL028-636-0231
東図書館	中今泉3丁目5番1号	〒321-0968	TEL028-638-5614
南図書館	雀宮町56番地1	〒321-0121	TEL028-653-7609
上河内図書館	中里町182番地1	〒321-0414	TEL028-674-1123
河内図書館	中岡本町3397番地	〒329-1105	TEL028-673-6782



◆編集後記

静まりかえった夜の図書館で哲学カフェ。テーマは「本」。図書館の役割や、紙の本のよさについて、改めて考えるよい機会となりました。これからは、紙の感触を楽しみながら本を読みたいと思います。（東）